

自然エネルギー信州ネット

2017年度第1回運営会議 議事録

日時：2017年（平成29年）4月21日（金）15：00～17：00

場所：長野県環境保全協会 会議室

出席者（敬称略）：

【役員】

| | |
|-------|-------|
| 高木 直樹 | 理事・会長 |
| 平島 安人 | 理事・議長 |
| 田村 恵子 | 理事 |
| 合原 亮一 | 理事 |
| 茅野 恒秀 | 理事 |

| | |
|---------|-------------|
| 沖野 外輝夫 | 監事 |
| 宮入 賢一郎 | 事務局長（前） |
| 古川 浩 | 顧問 |
| 小田切 奈々子 | 事務局コーディネーター |
| 浅輪 剛博 | 事務局長（新） |
| 神田 大介 | 長野県 |
| 井出 洋文 | 長野県 |

【会員】

4名

1. 開会（司会 宮入事務局長（前））

2. あいさつ

高木会長：第1回の運営会議で、体制の変更も若干ありますが、うまく進んでいるところもあれば、課題が多いプロジェクトもあります。ぜひ、皆様のアイデアをいただきながら、今年度も進めていきたいと思えます。

古川顧問：昨年度はドイツの方々長野県を訪問され、ドイツの知見も学ぶことができました。また、飯田自然エネルギー大学においての実践セミナーの開催など成果がありました。今年度も継続してセミナーが実施される予定ですし、また新事業も行なっていただくということで、さらに発展し、サポート事業を進展いただくことを期待しています。県では、自然エネルギーの産業化を推進する予算を作りました。自然エネルギーの自立地域の確立を目指し、底辺を広げながら、実現していきたいと思えます。

新しい職員の紹介をいたします。

井出：出身は小諸市です。先月まで経済産業省におりました。今月から長野県職員として努めさせていただきますので、よろしくお願ひします。

神田：係長の神田です。2年目になりますが、本年度もよろしくお願ひいたします。

3. 会議事項

（1）議題、資料確認

宮入事務局長（前）： 会議資料 一式 及び 県の資料がありますので、ご確認ください。
理事全員の参加で規約により成立しております。
議長を理事の平島さんをお願いいたします。

（２）議事

議長 平島理事： 総会に向けた準備の会としての本日の運営会議の位置付けになります。

１）２０１６年度 事業報告

資料 １

平島： 総会に向けた作成中のものですが、ご確認ください。「II 活動計画」の 6 項目ですが、
1. 専門部会は、それぞれの部会からの報告を受けながら作成していきます。
2. 本年度含め、プロジェクトチームが大きな役割をしめつつあります。
3. 組織形態適正化に関しては、のちの議題で取り上げます。
4. 各地域での報告を受けながら作成しています。
5. ミニメッセが好評だったので、引き続き行いたいと思っています。
6. 事務局と一緒に、基盤強化を進めていきたいです。

小田切： 補足です。クラスター事業は県主催での事業を追加します。
6 のところで、講演が二つ追加になります。2 月の長野高校と 3 月の長野東ロータリークラブで
す。
プロジェクトチームは、今年度をどう行なっていくか、議論継続しています。

茅野理事： 白書ですが、まだ、完成版が昨年度中に完成できていません。かなり多くの太陽光が県
下にあることがわかりました。間も無く完成予定です。今後は、印刷ベースでいくのか、HP で
随時アップデートさせる方式にするか、検討するのはどうでしょうか。

■ 質疑

沖野幹事： 4 の項目、地域協議会として会員となっている方もいるので、進行状況の情報収集を改
めて行いましょう。

小田切： ヒアリングシートを各地域協議会に今までは提出をお願いしておりました。

会員 1： 佐久地域協議会では、ブログに新情報を載せております。

茅野理事： 一般向けへの情報発信とまた、信州ネットの会員に向けて、例えば他の地域協議会がど
んなことをやっているのか、など学べる場があると良いと思っています。信州ネット大会など
報告会を定期的に行うのが良いと思います。

沖野： あと自治体の会員さんがどのような活動をされているのかも知ることができれば。

平島： 信州ネットでということもありますが、各自治体や県などでも集めておられるのではないか
と思います。

古川： 県の HP など情報公開しているところもあります。
行政会員は、32 自治体とのことです。例えば、大会があれば、あるいは行政自治体が集
まる場などの中で情報発信していただければと思います。あと、県では一村一自然エネルギー
の取り組みも紹介しています。地域協議会からも情報発信をお願いできればと思います。

平島： 戴いた情報などを加えて総会に向けて作成していきます。

2) 2016年度 収支決算報告

資料 2-1 2-2 2-3

事務局小田切：収入は確定していますが、支出はまだ請求額が未確定な電話代などもありますので、それに応じて租税公課も変化します。
会費は若干会員数の変化があり減少があります。地球環境基金事業に関しては、印刷費分の減額があります。
支出では、役務費は、一般社団法人自然エネルギー信州パートナーズへの事務委託費が主になります。
印刷費はSUWACO LABOなどの広報を拡大したので、増額もあります。

3) 2017年度 事業計画(案)

資料 3

浅輪：昨年度の継続事業を発展させながら、新規プロジェクトとして、資源エネルギー庁の委託事業である「地域の再エネ推進事業(太陽光発電)」と、提案ですが「COOL CHOICE宣言」などを通じた省エネ/断熱などの事業案です。

■資源エネルギー庁の委託事業である「地域の再エネ推進事業(太陽光発電)」

合原理事：資源エネルギー庁の委託事業に補足させていただきます。

すでに設置された太陽光発電を継続的に運営できるような体制を県単位で作るという事業の委託事業になります。

1) 保守管理を誰に頼めばいいのか、ということデータベース化する。

2) 資源エネルギー庁から講師を派遣してセミナーを開催する。

が、必須事業です。再エネ法の事業認定への変更に伴い、保守管理をしっかりと行なっていきたいと考えています。

自治体の県を中心に行っていきたいと考えています。

5) のスキルアップ事業は2)の座学に加えて、実際の測定などの実務的な研修を考えています。

■質疑

会員2：信州ネットが実行部隊になるのでしょうか。

合原：人件費も確保していますので、アルバイトも含め、実行していきたいと思います。

会員2：実際の保守・点検事業者はすでに候補が多くいるのでしょうか。

合原：これからですが、適格な業者さんを見つけていきたいです。

小田切：飯田のおひさまさんでも協力頂けるとの話でした。

会員2：信州ネットより測定機器などのリースが可能でしょうか。

茅野：この事業とは離れますが、たとえばいくつか業者がまとまって共同購入などもできると思います。

太陽光発電が適切に進むように、その中で「地域に根ざした」保守体制を作る、ということが大事になるとのことで、今回の委託事業があります。地域主導の自然エネルギー信州ネットにふさわしいと考え、理事で議論して応募させていただきました。また、事務局に現在は専任がいませんし、その非常勤の複数人体制を試す機会の一つとして考えています。

会員2：発電事業者としては保守管理費を出しにくいところもあります。トラブルを含めた収支表

など出せれば進められるのではないかと思います。

合原：委託事業の範囲ではないので、この事業の一部として行えるか分かりません。

高木：発電量が落ちたとしても原因が特定できない場合に判明できるようなところを明らかにできたらと思います。

合原：セミナーなどの中で、今までの事例の報告をして戴いて注意喚起はできると思います。

茅野：この事業は委託事業で中身は決まっていますが、スピノフして、会員2さんのような事業も会員の発意によって検討できるのが信州ネットの特徴だと思います。

茅野：他のプロジェクトのうち、まだアイデア段階のものは予算がついたら具体的にネットの事業計画に書くので良いと思う。

小田切：鬼無里は、告知やアドバイスなども含め、ご協力をお願いしたい。

■質疑「COOL CHOICE 宣言」

浅輪、合原：COOL CHOICE 市町村の自治体が応募主体 企画などを信州ネット、事務をみらい基金さんと可能とのこと。エネルギーの子供教室など、関心がある地域協議会や自治体がいればと声がけしても良いか。

小田切：みらい基金から、今までは実際の住民、生活に根ざした宣言がないので、そのようなものを行いたいとの話を聞いている。

沖野：広域連合で宣言はできるのか。

古川：広域連合の場合、構成する各市町村との総意を得られるかどうかポイントになります。

田村：子供の居場所事業をみらい基金さんと行ってきている。

茅野：地域協議会や自治体への情報提供で、行いたい場所があるかどうか、と声がけも良いと思います。それで参加者があれば検討するという形で進めたらいいかと思います。

会員1、会員2、合原：説明会を開催するので来てください。という提案が良いのでは。

事務局：データは流しながら、説明会を調整します。

会員2：自治体会員さんとどうも連携できるかと思っています。

合原：それぞれの地域でまず連携を作っていくのが良いと思います。

古川：つながりを使って地域の再エネが広がっていくような活動が広まってほしいです。

4) 2017年度 収支予算計画(案)

資料4

浅輪：COOL CHOICE は見込みですが、その他は申請済み、あるいは昨年度とほぼ同様の金額になっています。

5) 理事の任期満了による改選（再任・新任）について

■確認事項

高木会長が現理事5名および小田切奈々子さんを2017年度理事として推薦した
運営会議として高木直樹さんを2017年度会長として推薦した
運営会議として宮入賢一郎さんを2017年度監事として推薦した
以上の人事については、総会の議決を経て正式決定となる

高木会長が浅輪剛博さんを新事務局長に選任した

6) 信州ネットの法人化ならびに

一社) 自然エネルギー信州パートナーズとの一体運営、役員人事について

合原：初心に帰ろうという話になります。任意団体と法人と両方必要ではないかと今までの議論で明らかになって来ました。よって一社) パートナーズと一体運営したい。会員は任意団体の方で、その運営会議／総会／理事が法人を一元的に運営する。

今後の表記や呼称については、任意団体 自然エネルギー信州ネット／一社 自然エネルギー信州ネット、といったように、任意団体／一般社団法人いずれの信州ネットを指すのか明確にわかるように区別し表記あるいは呼称する

■質疑

沖野：会員の皆さんに分かりやすいご説明を。

高木：名前が同じだと混乱が生じそう。会員となるのは、任意団体だけだと、印象付けられるか。

7) 事務局長の新任と事務局の新体制について

高木会長：事務局長に浅輪剛博を選任した。

浅輪：事務局員も非常勤など候補者をさらに募集している。

■決定事項

定時総会に向けての議事は提案資料に若干の修正を加えることですべて承認された。

連絡事項

■2017年度 定時総会開催のお知らせ

日時：2017年6月17日（日） 14：00～16：00

会場：生涯学習センター トイゴ3階 第1学習室

長野市鶴賀問御所町 1271-3

※同日、16：30～17：00 長野県地中熱利用促進協議会による説明会を開催します。

4. 閉会

以上